

一人ひとりの夢・思いを大切に

福祉 しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 永田 元
 発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
 電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org



八潮自治会連合会長濱中会長を囲んで
 (関連記事七頁)

らうんじ

毎年三月に八潮団地地域清掃があり、緑道公園の清掃に参加し、予想外にゴミが少なく、役員の方に伺うと「これ以外にも毎月清掃の日を決めて行っています」との答えで、私たちの見えない所で多くの方が安全な環境づくりのために尽力していただいていることを知り、地域に支えられていることを感じました。

また、中央保育園では今年三月に大規模改修を終了し、工事中の騒音などで近隣の皆様にご迷惑をおかけしたため、町会長へご挨拶に伺うと「子供たちの元気な声をまた聴けると思うとうれしい。これから応援して下さるからね」とお言葉をいただきました。

きましました。騒音問題が取沙汰される昨今、ありがたい言葉に感動し、長年の私たちの活動を評価していただき、今年、法人は開設四十周年を迎えます。利用者支援を向上させていくことと合せて、法人の活動を支え応援して下さる地域の皆様のために、私たちが今後どんな貢献ができるかを真剣に考え、取り組んで行きたいと思えます。事務局次長 松木利彰

品川総合福祉センター新しい10年に向けて



サンかもめ
「毎月のビーズ作品」

昭和58年に「親なき後」や「身近な場所」での施設を望む多くの方々の切実な声に応えて、全国初の「都市型複合施設」として開設された品川総合福祉センターは今年で設立40周年を迎えます。当初、障害者施設や高齢者施設の5事業所からスタートし、現在では保育所も含めて26事業所の規模まで拡充されてきました。

この間、様々な制度改革や困難がありましたが、利用者・ご家族の皆様や地域の皆様のご理解・ご協力をいただき、また行政をはじめとする諸関係機関等の皆様方からの、ご指導・ご支援をいただき大きく発展することができました。

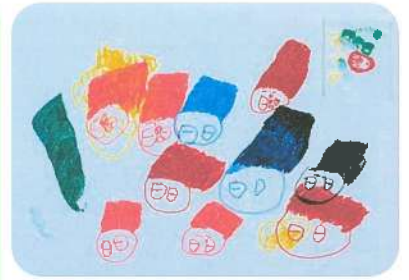
しかしながら、少子高齢化や障害者などの従来からの課題に加え、子供の貧困やヤングケアラーなど新たな課題もまたクローズアップされてきています。

品川総合福祉センターは、こうした新しい課題にも果敢にチャレンジし、法人理念を実現していくため、30周年時に策定した「未来創造図」に続き、利用者や地域の皆さんからの寄せられたご意見を基に、職員参加による今後10年の指針となるべき中長期基本方針・計画を策定することといたしました。

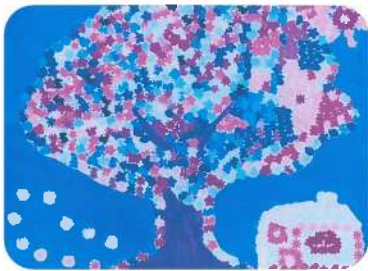
今後とも、地域の皆様との交流を深め、質の良い利用者本位のサービスを提供し、ご利用者やご家族そして地域の皆様の「信頼」に応えてまいりたいと存じます。引き続きのご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 品川総合福祉センター

理事長 永田 元



かもめ園 「かぞく」
仲良しがいいです。



かもめ園 「桜と家」



かもめ園 「鬼」



かもめ園 「提灯」



かもめ園 「夏のひまわり」



かもめ園 「さかな」



品川区立心身障害者福祉会館
「花火」



かもめ園 「ねこ」
ねこ大好き！



サンかもめ
「COZY COZY ワールド」

これからの品川総合福祉センター 第二次未来創造図 (中長期基本方針・計画)

キーワードは「信頼」

第二次未来創造図の策定に向けて、まず全職員の意見反映を目的としたアンケートを実施しました。あがってきた意見を分析した結果、「利用者からの信頼」「家族からの信頼」「地域からの信頼」「職員からの信頼」という、当法人の理念に結びつく4つの「信頼」が浮かび上がってきました。そして、これらの信頼を具現化するために「組織の課題」があげられました。

これらのキーワードを軸に、当法人の10年後のあるべき姿を明らかにし、それに向けた課題を明確にし、その解決策を検討し、中長期の法人経営全般における基本方針・計画を明らかにしました。

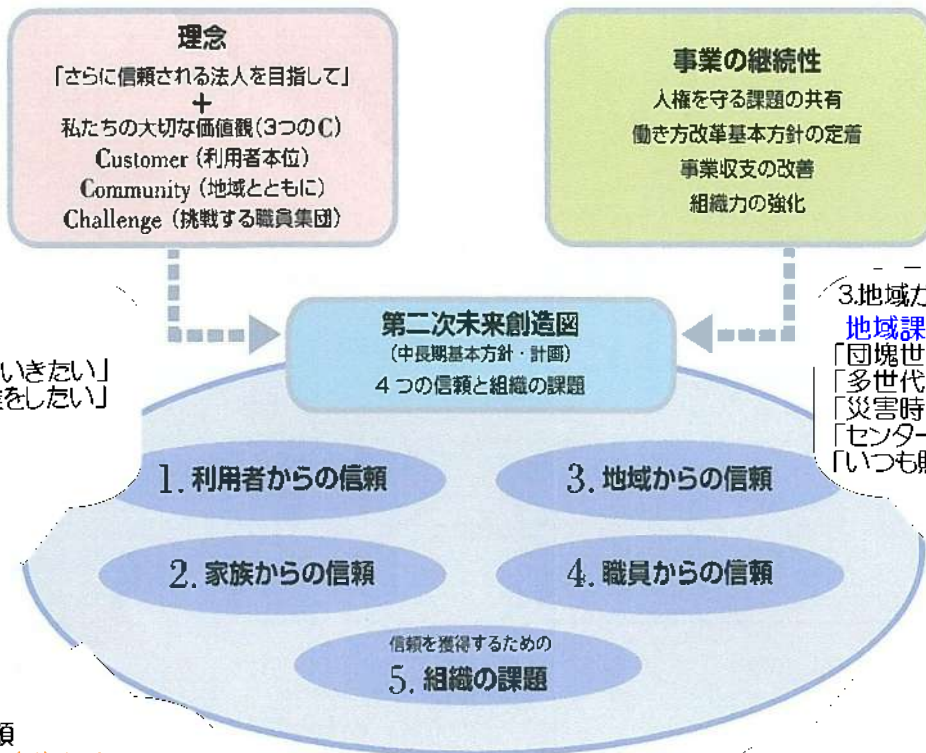
これからの10年も厳しい時代が予見されますが、地域の皆さまに信頼される福祉施設として品川総合福祉センターの役割を果たすため、40年間の信頼を礎に、更なる活気と笑顔のある法人を目指してまいります。



第二次未来創造図

地域と共に

【4つの信頼をキーワードとした、10年後のビジョン】



1. 利用者からの信頼
利用者の夢の実現
「ずっと品川で暮らしていきたい」
「もっといろいろな作業をしたい」
「話し相手が少ない」

3. 地域からの信頼
地域課題の解決
「団塊世代の後期高齢期対策」
「多世代交流」
「災害時対策」
「センターは人に寄添う優しい場所」
「いつも賑わいを見せてくれて感謝」

2. 家族からの信頼
ご家族への思い・声を生かす
「区内に入所できてよかった」
「家族と同じ思いで支援してほしい」
「情報量が少ない」
「職員の人手不足を感じる」

4. 職員からの信頼
職員の夢の実現
「高齢者版地域食堂をしたい」
「ICTの積極導入」
「人材育成体制構築」
「長く働き続けられる職場に期待」
「現場の意見を聞いて欲しい」

5. 組織の課題
組織としての課題
「人権擁護」
「虐待防止チェック」
「人材確保、育成」
「経営状況の改善」
「情報管理・インフラの整備」

獲得目標

信頼獲得のための行動計画

4. 職員からの信頼

職員から職場の環境、処遇、人間関係の改善への意見が多く上がっています。働きやすい職場環境としては、休暇、心身の健康、福利厚生充実やワークライフバランスが取れる職場を望む声が多く、人事面では「適材適所」「適正な評価」「人手不足の解消」等の意見がありました。

法人は職場環境の整備と働き方改革を推進し、誰もが無理なく働ける職場環境を作ることで、職員が法人を信頼し、また職員同士が信頼し合う、活気のある法人をめざします。

⑦働き方改革の実施

- ・令和3年に策定された「働き方改革基本方針」に基づき、人材部会内で優先順位を決め実行。
- ・第二期中期経営計画の中で働き方改革の取り組み6項目（ICTの活用、事務効率化、ワークライフバランス、会議基本ルールの徹底、勤務制度検討、超過勤務への対応）について効果測定し、改善を進める。

⑧職員教育の充実

- ・福祉職員としての倫理観の醸成の他、各分野での専門性を高めるための研修計画・実施。
- ・研修委員会が中心となり、法人内の職員状況を把握し、新任職員、中堅職員育成など必要な研修内容を計画。

⑨風通しの良い組織づくり

- ・意見の出しやすい環境づくり
- ・施設単位での環境づくりとして、安全衛生委員会やリーダー会等で情報共有を行い、風通しの良い職場環境への工夫について、成功例を共有し実践。
- ・法人全体の環境づくりとして、施設長会を中心に情報交換を進め、施設間の交流や協力体制を作り、法人全体の意見交換を活発化させる。

⑩ICT導入による業務効率化

- ・ICT導入委員会を中心に利用者支援、法人管理部門の二つに分け、ICT導入を具体化。
- ・令和5年度から3年間で導入を進め、業務効率化について評価していく。

獲得目標

組織の課題解決のための行動計画

5. 組織の課題

法人に求められている4つの「信頼」を得ることを活動の中心において、今後10年の行動計画として10項目を立てました。さらに、これら4つの信頼獲得のための課題と法人が直面する課題、そして第一期中期経営計画の総括をもとに、組織力強化、収支改善、新事業への対応に向けて組織の課題を4項目立てました。

これら14項目の課題に取り組むことにより、法人が今まで以上に信頼される存在となるよう努力していきます。

⑪コンプライアンス強化・虐待防止

- ・各施設の運営状況について法人内でチェックできるよう、コンプライアンス委員会を中心に体制を強化。
- ・人権擁護にかかる利用者支援状況について虐待防止委員会を中心とし、法人内のチェック機能を高め、不適切ケア・虐待ゼロをめざす。

⑫人材確保、育成、定着

- ・今後懸念される福祉人材不足に対し、人材部会が中心となり職員採用方法の改善などを検討。
- ・直近に控える八潮南複合施設の増改築に向け、職員定数確保のための対策を実施。
- ・人材確保、育成、定着について、第二期中期経営計画の中で検討、具体的に取り組む。

⑬収支改善

- ・収支改善に向けた取り組みを施設単位と法人全体で進める。
- ・収支改善については、まず施設単位で課題を抽出し収支計画を立て実行。
- ・収支部会で各施設の収支状況を把握し法人全体で共有し、改善に向けて具体的な方策を立てていく。
- ・施設間で共通する課題を抽出し、法人全体で具体的な方策を立てていく。
- ・第二期中期経営計画期間の3年間で連続して、法人全体単年度収支黒字化の成果が出せるよう計画を進める。

⑭法人内の情報インフラ整備

- ・情報インフラの整備や全職員への効果的周知方法について検討。
- ・法人内の情報管理について、施設間での情報の差が生じないように、情報内容、周知の時期に注意して対応。

獲得目標

信頼獲得のための行動計画

1. 利用者からの信頼

私たちの仕事は、生活の主体者である利用者が自分の意志で自己実現が図れるよう支援することです。そのためには利用者個々の意見を第一と考え、寄り添った支援が大切です。生活面では利用者の精神的な安心感が必要であり、その根底には人権擁護の意識が必須となります。こうした取り組みの中で利用者が生きがいを感じ、質の高いサービスに満足し、安心した生活を送ることで、利用者から信頼され選ばれる法人をめざしていきます。

① 個別性の重視

- ・利用者に寄り添った支援、介護、保育の質の向上、特に個別性を重視した支援を施設単位で実践。
- ・サービス向上委員会で各施設の状況を把握し法人全体で共有できるよう計画。

② 倫理観の醸成

- ・各施設単位の研修とOJTを通し、福祉職員として倫理観、職業倫理を醸成。
- ・人権部会が法人全体の状況を把握し、研修委員会と連携して必要な研修を進める。
- ・法人全体の人権意識を高め、不適切ケア、虐待のない法人を目指す。

2. 家族からの信頼

ご家族は、自分の代わりに親身になって接し、利用者が安心して生活できる事や利用者が生きがいを持って生活できることを望んでいます。

ご家族の思いに応え、施設でのサービスの中身がよく見えるようにすることが重要です。透明性のある施設運営をすることで、家族からの信頼を得て、家族が安心できる法人、選んでもらえる法人をめざしていきます。

③施設運営の透明性確保

- ・ご家族に対し、施設の事業内容、利用者状況のタイムリーな情報提供。
- ・利用者との契約内容、同意書関係の書類が適正に整備されているかを確認し、ご家族の同意によりサービスが提供されているかどうかの確認。
- ・苦情案件の情報開示を確実にを行うことにより法人全体で苦情解決に取り組み、サービスの質の向上を図る。

3. 地域からの信頼

地域の方やボランティアからの応援や感謝の言葉をいただき、法人の40年の取り組みが地域に根付いていることを確認することができます。これからも地域への発信や働きかけを続けることが重要であると考えています。

一方、地域福祉の担い手である社会福祉法人として、透明性のある適正な運営をアピールすることも地域からの信頼につながります。さらに、安定した経営を継続することで、行政をはじめ関係機関の信頼を得て、ともに地域福祉向上に貢献していくことも重要なことです。こうした地域からのさまざまな期待に応えつつ、「地域とともに」今まで以上に地域から信頼される法人をめざしていきます。

④地域福祉ニーズへの対応

- ・地域の福祉ニーズへの対応として、40年間培ってきたボランティア育成と活動の定着、福祉啓発、福祉教育、社会貢献などの取り組みを地域福祉課が中心になって継続。
- ・地域の困りごとの相談窓口として、ワンストップの対応が取れるよう法人内の事業所と連携し対応。
- ・地域住民が集う居場所づくり、世代間交流の場を積極的に企画。
- ・新たな在宅ニーズの検討を行い、施設間で協力して地域福祉ニーズに対応。

⑤防災への取り組み

- ・法人BCP計画について各施設のBCP計画とのすり合わせにより、早い時期に現状に合わせて見直しを実施。
- ・各施設単位で地域防災対策状況を把握して、町会・自治会との協力体制を強化。
- ・福祉避難所については指定された拠点施設で状況を把握して、区の担当と協力して地域防災体制を構築。

⑥地域への情報発信

- ・さまざまな福祉課題について着目し、福祉啓発活動を行い、地域をリードする福祉ネットワークの核として、情報発信を積極的に実施。



平成24年「紅葉まつりコンサート」



八潮中央保育園
平成31年「桜の下でご飯」



さつき 令和13年「ホッケー応援！」



八潮北保育園 令和4年「夏祭り」



平成25年「楽しいバザーさつき祭り」



かもめ (知的)
平成31年「納涼会」



かもめ (身体) 平成30年「お花見」



八潮南特別養護老人ホーム
平成30年「ベランダで「服」



品川総合福祉センター 十年の思い出



平成30年「しなぶく紅葉フェスタ」



平成26年「子どものつどい」



品川区立心身障害者福祉会館
平成27年「障害者週間記念の集い」



かえで荘
平成30年「品川区長と長寿を祝う会」



サンかもめ
平成28年「アールブリュッド作成」



平成27年「ボランティア講座」

心のつながり 地域とともに 2022

コロナ禍三年、物価も高騰し、社会情勢も不安が大きく、昨今、地域の皆様のために私たちができることは何なのか。法人事業所は、まだまだ感染症対策で制限のある状況でしたが、利用者の命と生活の安全を守りつつ、地域の方ともつながりたい。法人の役割を改めて見つめました。法人が大切に行っている事業である地域交流と地域貢献。

令和三年度は地域の皆様と施設利用者との“励まし合いメッセージ交換”をしました。令和四年度は、前年よりも更に一歩前進した内容で、「心のつながり地域とともに二〇二二」を十月二十三日に開

催しました。令和五年度四周年を迎える当法人へ要望やご意見、メッセージをいただき、来場くださった地域の先着二百名様に野菜と果物の詰め合わせを差し上げました。

コロナで活動を自粛せざるを得なかった企業ボランティアのプルデンシャル生命保険株式会社品川第一支社の皆さんが、三年分の思いを込めてフル仮装でイベントを盛り上げてくださいました。二百九名様が来場され、一七六枚のメッセージから、多くの励ましと活力をいただきました。

皆様との絆を大切に、感謝の気持ちを胸に、お声に応えられるよう精進してまいります。



皆様のメッセージがツリーになりました

ご意見、メッセージをいただき、来場くださった地域の先着二百名様に野菜と果物の詰め合わせを差し上げました。

コロナで活動を自粛せざるを得なかった企業ボランティアのプルデンシャル生命保険



↑お子さんへ後援会から寄贈のお菓子プレゼント



↑メッセージと交換で野菜&果物をプレゼント!

ヨーヨー釣りや授産の販売も出店して、沢山の笑顔に出会えました



利用者力作の巨大リボンでいただいた176枚のメッセージと共に



「さらに信頼される法人を目指して」

品川総合福祉センターの基本理念

私たちの使命（ミッション）

ひとり一人の夢・思いを大切にします。
人生の歩みの中で必要な福祉サービスを提供し、安らぎ・活力・生きがいのある人生を支えます。

私たちの目指す姿（ビジョン）

地域の福祉ネットワークの核とし貢献し、信頼される法人を目指します。

私たちの大切な価値観（バリュー）

私たちは3つのCを追求します。

- ・ **Customer（利用者本位）**
一人ひとりの尊厳を守り、利用者本位のサービスを全職員が一体感を持って接します。
- ・ **Community（地域と共に）**
地域とともに、様々な福祉ニーズを直視し解決に努力しながら地域福祉力の向上を図ります。
- ・ **Challenge（挑戦する職員集団）**
利用者と共に喜びを共有するために、法人に誇りを持ち、専門性・人間性を高め、新たな可能性に挑戦し続けます。

品川総合福祉センター施設一覧

○高齢者福祉サービス事業

- ・かえで荘
- ・品川区立中延特別養護老人ホーム
- ・品川区立八潮南特別養護老人ホーム
- ・品川区立八潮南認知症高齢者グループホーム
グループホーム八潮南
- ・品川区立八潮在宅サービスセンター
- ・品川区立中延在宅サービスセンター
・品川区立大井在宅サービスセンター
- ・品川区立八潮在宅介護支援センター
- ・品川区立中延在宅介護支援センター
- ・品川区大井在宅介護支援センター
- ・品川区大井第二在宅介護支援センター
- ・品川区立八潮わかくさ荘
- ・品川区立大井倉田わかくさ荘
- ・大井三丁目高齢者憩いの場

○障害福祉サービス事業

- ・障害福祉サービス かもめ園
- ・障害福祉サービス 福祉工場しながわ
- ・障害福祉サービス さつき
- ・障害福祉サービス サンかもめ
- ・品川区心身障害者福祉会館
品川区障害者地域活動支援センター
品川区旗の台障害児者相談支援センター
障害者訓練センター
生活介護事業
- ・品川区中延障害者計画相談支援事業所
- ・品川区大井第二障害者計画相談支援事業所
- ・品川区八潮障害者計画相談支援事業所
・鮫洲なぎさの家
- 児童福祉サービス
- ・八潮中央保育園
- ・八潮北保育園

サンかもめ二十周年おめでとう

二〇〇二年四月一日に「安心安全、感動のサンかもめ」をキヤッチフレーズにサンかもめが開所し二十周年を迎えました。

あの日から時間は流れても皆様の笑顔は変わららずに、大輪の花を咲かせており、その笑顔に出会える喜びは職員一同、今も変わりません。サンかもめに携わってくださった皆様に厚く御礼申し上げます。

後援会からのお知らせ

品川総合福祉センター後援会
ご人會のお願い

後援会では利用者の皆さんの生活の充実を図るために活動しております。

皆様のご協力をお願い致します。

会費／月額一口三百円

一年分三千六百円になります。

後援会事務局／地域福祉課

電話〇三―二七九〇―四八三九